



緑のまち

第8号 平成3年10月30日

発行 財団法人 日野市環境緑化協会

〒191 東京都日野市神明1-12-1 日野市役所内
電話 0425(85)1111 内線265~7



緑は私たちの生きる力

(応募標語集より)

駒形の渡し

多摩川の渡しは江戸時代よりと言われ、「日野の渡し」「万願寺の渡し」として今もその名をとどめております。

当時、甲州街道を通行する者、毎年10万人を下らないと言われ、渡り賃は当時のお金で1人5厘とのこと。なかでも万願寺の渡しは江戸城防衛の拠点の一つに数えられていたのか、江戸の下町で将棋を指すときに「王手は日野の万願寺」という言葉が使われ、今でもしばしば用いられております。

昔から浅川には渡し場はなかったということですが、市民プールの完成と相まって、「近道」「楽しさ」「交通安全」を考え、プールと対岸を結ぶ、全国でも初めてといわれる「駒形の渡し」を昭和55年7月に開設し、現在に至っております。夏の期間しか実施されておりませんが、今迄に10万人もの人を運び、夏の風物詩としてすっかり定着し、市民の皆様にあされ、喜ばれております。

みどりのまちを わが日野とー

理事 中川英子

朝八時、昼十二時、夕方六時に市役所から風にとつて流れてくるメロディーに合せて、口づさみながら、家のまわりの緑を眺め、幸せを感じています。そして、この緑がいつまでも緑であるように、もっと真剣に緑の保護を考えなくてはと、思う毎日です。

最近はずくに地球的に全世界的に環境保護がさげばれていきます。

日野市は昭和五十年に緑化条例が制定され、緑化推進の行政がなされてきました。

環境緑化協会も発足してから足かけ3年になります。全市民が会員をモットーに一人一人の参加と協力で、年ごとに成長してまいりました。

今年も六月(カサギク)と八月(ポットマム、スプレー菊)に配布されました菊苗はどのような花が咲きましたでしょうか。用土と肥料と苗の育て方のパンフレットをいただいで、私も一生懸命育てております。毎年、一生懸命さが足りないせいでしょいか、

コンテストの賞には入りませんが、とてもきれいな色の花が咲いて長い期間楽しませていただいています。

植物をはじめなんでも、愛情をもって育てますと、その思いが伝わり、これにこたえてくれると言われております。

昨年に配布されたユリとヒヤシンスも今春には見事な花を咲かせてくれました。



「まちに緑と清流を

くらしに花とうるおいを」

この標語が私は大好きです。駅前や公園、空地の花壇に、四季折々の花が道行く人達を楽しませてくれています。

七生丘陵散策コース、黒川段丘崖散策コース、多摩川の河原、浅川の河原には自然の草花が咲き、やさしく語りかけてくれます。

かけがえない自然をみんなで大切にしていきたいと、いつもいつも考えています。

皆様も実行していらっしやる事かと思いますが、お米のとき汁は植木や草花に、台所のゴミは、家庭菜園に埋め込んでいます。大変良い有機肥料になり、作物の成長が助長されます。(台所の生ゴミは土の中では一週間で有機質に分解されるそうです。)

どんなに小さな、ささやかな事でも、一つ一つを日々積み重ねることが一番大切であると感じています。

皆様と共に住みよい緑のまちを作っていきましょう。これが私の願いです。

自然のしくみ(一)

理事 矢島 稔

誰だつて緑は大切だと思つているし、自然は守りたいと考えているでしょう。

私たち人間は道具を駆使してすばらしい社会を築き、便利なくらしに満足しています。

が、この事は周りの自然とは何のかかわりもないように感じていきます。ところが最近の出来ごとを例にすれば、雲仙、普賢岳の噴火による災害や台風による風水害で人が亡くなつたり、家が被害をうけているのはご存じの通りです。

つまり、人間は自然と無関係に生きていくことはできないのです。火山や台風も自然の姿の一部ですが、四季の移り変わりや生物の暮らしも自然の姿そのものです。ですから私たちは自然を知る必要がありますし、そのしくみを理解し自分のものにしておくことで、自然といっしょに生きる方法を常々考えておくべきだと思うのです。

ただ、自然といつてもそれはあまりにも大きすぎて、どこから手をつけていいかわからないと思います。野山も川もみんな自然ですし、そこには植物も鳥も昆虫もくらしています。

そこで、この自然のしくみを解きほぐすには何か一つ対象になるものに目をつけ、それを中心に関係のあるものをたぐっていくという方法があります。

実は私もこうした方法で少しずつ、自然界の仕組みを知つていったのです。

では、その対象にホタルを選び、それを中心に自然界の仕組みをお話しましょう。

ゲンジボタルは流れのある小川のまわりで夏のはじめに

見られます。これはその流れの中に幼虫が住んでいるからで、成虫は川のそばの茂み、例えば篠竹や杉の葉に止っています。日没から三十分位するとそれまでじっとしていたホタルは活動をはじめ光り出します。

ホタルは暗くならないと動かない習性をもっているのので夜を待っているのです。

やがてオスもメスも光って飛びまわり、その光り方で異性をさがし出して交尾します。

つまり光は信号になっていて、言葉の代わりをつとめているのです。交尾したメスは二日後から卵を産みはじめますが、その場所は一日中決して陽の当たらない湿ったコケの上です。それは卵がいつも湿っていないければかえらないからです。三十日後にかえった幼虫は水の中に入り、主に夜、

水底を歩いてカワニナという巻貝を探し、それをつかまえるとかみついて肉を食べます。つまりカワニナが沢山いなければホタルの幼虫は生きられないのです(つづく)



夏休み親子自然教室に参加して

— 7月21日南平丘陵公園にて実施 —

六年 四元郁誉

「二十年后にはセミがいなくなる」ほくほそれを聞いてなぜだろうと思いました。セミがやかましく鳴きまくる時期は真夏。一見、ただやかましく思っただけに思うけど、なんだか夏がきた事を喜んでいられるような気がします。また、ほくほはセミが夏を持ってきてくれたような気もします。なのに、そのセミがいなくなるとはどいうことか。それは約二十年后には土の上がほそうされ、道路ができて、工場ができて、ビルが建って、地面の土は全て建物の下にうまってしまっからでした。知っている人もいると思うけど、セミの幼虫は土の中で時をすごします。しかし成虫になる準備ができ外に出ようとしても、上にあるのはコンクリートなので出られないのです。この様に、セミはいなくなってしまう姿を消してしまおうと思

います。その様になつてはイヤ

なので、今からでも虫や自然を守り、二、三十年後でも虫たちが元気にくらせる様になりたいです。

四年 石山健一

南平丘陵公園で緑化協会の自然観察がありました。

野鳥、昆虫、植物グループがあつて、ほくほは昆虫グループに行きました。カブト虫、チョウ、セミが好きな植物の話をしてくれました。カブト虫は夜の7時30分から8時30分くらいによくとれるといっていました。その時がカブト虫やクワガタの夕食だからだそうです。あと、夜中の2時から3時までの間もとれると言っていました。旅行に出かける時は、一週間から10日ぐらいなら、りんごを半分にしてちよつとくさらせておくとか大じょうぶなのだそうです。チョウのつかまへ方もおしえてもらいました。とても暑かったです。公園の外に出たらもっと暑かったです。

「緑の羽根」募金運動をして

緑の羽根募金活動を去年も今年もやりました。

去年の募金の時は風だったので、今年たのまれた時に、今度は天気の良い日になるといいなと思っていました。当日雨になってしまつて、いっしょに募金活動する予定だった友達も、雨のためこれらなくなつてしまいました。急いで何人かの友達に電話をかけて、来てもらいました。同じように弟も友達に電話して、来てもらっていました。



時間になり、少しかぜでどが痛かつたけれど、大きな声を出してがんばつてやりました。雨だったのですぐ帰る人が多く、募金する人が少ないと思つていたのに、想像していたより募金箱にお金を入れてくれた人が多かつたです。私はその事とてもうれしく思いました。帰る時に、いっしょに活動した市の人が大変喜んでくれました。

役にたててとてもいい気分でした。

来年も出来たらやらせてもらい、町に緑がふえるように他の人達にも協力してほしいと願っています。

六年 平野 舞

大盛況

P・S菊苗の配布

八月恒例の「菊苗無料配布」には、ポットマムとスプレー菊の二種類が市内四ヶ所で一斉に配布されました。

菊苗の配布は毎年好評なことから、緑化協会では例年の二倍、四千本以上の苗を育成し、一人四本を目標にお配りしました。

しかし、長い列が続き、もたえない方が出そうな勢いで、やむを得ず途中から二本ずつにした会場もあったほど。「今年の苗は元気でいいね」とお誉めの言葉もいたとき、主催者はうれしい悲鳴をあげました。

また八月一日(木)の「菊の育て方」の講習会には五十名を越す参加者で、専門的な質問もとび出すほど熱心な講習会でした。



秋の緑化月間行事始まる！

期 間 平成3年11月1日～11月30日

テーマ まちに緑と清流を！くらしに花とうるおいを！

主 催 日 野 市

(財)日野市環境緑化協会

十一月は「秋の緑化月間」です。市民参加による緑化推進を目指して、いろいろな行事が行われます。

球根の無料配布、写真展、園芸講座など、又、8月にお配りした苗の菊花コンテストも開催されます。ぜひ、ご参加下さい。

家庭緑化の日

球根の無料配布など
多彩な催し

11月3日を「家庭緑化の日」とし、日野中央公園と東京南農業協同組合七生支店を会場として球根の無料配布を行います。中央公園では即売会も行われます。ぜひ、ご参加を！

日野中央公園

○球根の無料配布

小学生以上の方にテッポウユリ、スイセン、シラーカンパニユラータの球根セットを先着順に配布します。

▽配布時間 午前9時と午後1時からの2回、各先着千人

▽風船配布 幼児対象

○園芸相談

毎月、緑化センターで行っ

ている「花とみどりの健康相談」を当日会場で行います。▽時間 午前10時から午後3時まで

○即売会

秋から冬にかけての苗木、鉢物、用土、園芸資材のほか「新・日野の植物ガイドブック」などを、日野市花卉生産組合、東京南農業協同組合ほかが即売いたします。



○市民緑化用苗木の無料配布

市民の皆様による緑化推進のため、日野市緑化センターにて左記の苗木を先着500人(1世帯1本)に配布します。▽配布 午前10時30分～11時30分まで

▽配布樹木

高、中木 キンモクセイ、サザンカ、ベニカナメモチ、ハ

ナミズキ、ウメ等若干数
低木 ベニキリ、リュウキウツツジ、カルミア、ジンチョウゲ、ユキヤナギ等若干数

東京南農業協同組合七生支店

○球根の無料配布のみ

▽配布時間 午前9時と午後1時からの2回、先着500人
詳しくは(財)日野市環境緑化協会(〒日野市役所内線265)へ

菊花展示会

※配布菊花コンテスト

8月に市民の皆さんに配布した苗、ポットマム、スプレー菊のコンテストです。

出来上りはともかく、一生懸命丹精した菊です。

『参加することに意義があり』この精神が大切なのです。

▽期間 11月1日(金)～7日(木)

▽会場 市役所前市民プラザ

▽部門 市民一般(個人) 小学校(団体) 老人クラブ(団体)

▽表彰式 11月6日(水)午後2時から、市民プラザにて

※古典菊、大菊の展示も同時開催

中菊の肥後菊・嵯峨菊・伊勢菊・大菊の厚物・太管・細管など100鉢を展示します。

▽期間 11月1日(金)～30日(土)
▽会場 市役所1階市民ホールほか
立派な菊が出品されております。ぜひ、ご覧ください。



写真展

毎年力作ぞろいの「みどりの写真展」今回のテーマは「日野の植物」です。

ふだん見過している植物も絵にするとその素晴らしさが再認識されることもしばしばあります。

左記により写真展を催しますのでご覧ください。

○期間 11月12日～30日

○会場 日野市役所1階市民ホール

民ホール

親子炭焼き教室

三十年前までは家庭暖房の主役だった木炭。時代の波に押されてほとんど使われなくなりました。しかし近年、火持ちの良さ、手軽さなどの他に、脱臭・浄化作用など、用途の広さが見直されてきました。秋の一日、焼き芋を食べながら、誰でもできる「木炭づくり」を親子で楽しんでみませんか。

▽日時 11月10日(日)

午前10時から正午まで(雨天中止)

▽会場 南平丘陵公園

▽定員 50名

▽講師 杉浦銀治

▽申込方法 電話で(財)日野市環境緑化協会
(市役所内線265)



園芸講座

(庭木・生け垣)

庭木・生け垣の手入れの方法について学んでみませんか。あなたの家の生け垣、庭木がみちがえるようになりますよ。市では実演を含め、園芸講座を左記のとおり行います。多数のご参加をお待ちしております。

▽日時 11月15日(金)午前10時から11時45分まで

▽場所 日野市緑化センター
(日野中央公園南側)

▽テーマ 庭木・生け垣の管理について

▽講師 日野緑進会

▽定員 先着30人

▽申込方法 電話で公園緑課(市内線362)へ

地域緑化・清掃の日

11月24日(日)を地域緑化・清掃の日と定め、午前9時から正午まで、地域の公園、緑地をはじめ、公共の広場、道路等の清掃をします。

なにげなく、通っている道路、遊んでいる公園には多くの塵が落ちています。地域の公共物は皆さんのもの、地域の方の力できれいにしていきましょう。

参加した方には球根(一世帯当たり一袋)をさしあげます。又、参加者は自治会、子供会、老人会等の指示に従って下さい。



園芸講座

(正月の寄せ植え)

「一足早く春を呼んでみませんか。」

毎年当協会では、「正月の寄せ植え」と題して、園芸講座を開催し好評です。材料は、松・竹・梅・福寿草・鉢・一式で先生の指導はもちろんありますが、自分のセンスをいかして植え込み、正月に咲かせて楽しんで下さい。

▽開催日時 11月28日(木)

午前の部 午前10時～12時

午後の部 午後2時～4時

▽場所 日野市中央公民館

▽講師 武井完雄

▽材料費 1千円

▽申込方法 往復はがきで(11月12日消印まで有効) 抽選で午前・午後各50名



日野自動車工業労働組合では、設立45周年を記念し、当協会へ30万円寄附をして下さいました。心からお礼を申し上げます。心とともに組合の意志を尊重し、大切に使用させていただきます。

左記の緑化協会理事及び評議員が変更になりました。(順不同・敬称略)

新理事	旧理事	所	属
鈴木榮弘	前田雅夫	日野市環境緑化協会	所長
新評議員	旧評議員	所	属
小川友一	土方尚功	市議会建設委員	
倉重利恵	草刈喜一	小、中学校長	
大塚幹男	遠藤正美	(社)日野市学生会	

任期は平成四年三月末日迄



応募作文

自然の大切さと緑について

今年も小学校6年生を対象として作文を募集したところ、612編の応募がありました。この中から10編を選出していただき、紙面の都合で、4編を今回の会報で紹介し、残り6編は次回会報で掲載紹介いたします。

全部紹介出来ないのが残念なほど、一人一人が一生懸命自然の大切さについて考え、日野を深く愛し、いかに緑を守るべきか純粋な気持ちで書いており、選考委員5名の先生方も胸をうたれたそうです。

この作文のとおりまとめにあたり、ご協力をいただきました各学校の諸先生方に厚くお礼申し上げます。

自然の大切さについて

日野市立程久保小学校

佐々木佳世

「ズドーン！」

と、たおれる木の音は聞いていて気持ちのいいものではありません。今、私たちの住んでいる日野市、東京都にはあまり多くの森林は、見られません。私は、森林（緑）が大好きです。どうしてかと言うと、緑を見てみると、つかれた目など休まるし、とても安心した気分になるからです。そんな自然を、こわすなんて、人間はむごいんだなあと思いました。

この間行った日光移動教室では、見わたすかぎり山があ

私たちも困ってしまいます。そんなことがおきないように、もっともっと森林を大切にしなければなりません。

私は時々、花の種を、おばあちゃんといっしょに、まくことがあります。その時も、大切に、やさしくまきます。

私のおばあちゃんは今もう年寄りだけど、草木を子供のよう

に元気にいきいき育てます。私はそんなおばあちゃんが、

若かえったように見えます。草木たちは、とても喜んで、おばあちゃんに育てられてうれ

しい気持ちを表すかのよう

に、すくすく育っています。そんないきいきしている木々

たちを切るの、とてもかわい

いそうだと思います。ものにはみんな命があるのに、その命もむなしく切ってしまうなんてかわいそうです。木にも命はあります。その命をむだんで切ったりする人は、

私は、ゆるせません。これからは、みんな命があるということをお忘

れないで、自然を大切にしていこうと思いました。



日野の緑について

日野市立第七小学校

若宮 春奈

日野は緑と清流の街です。とくに緑は、すばらしいものです。

中央公園や、黒川清流公園などは、いつも緑があふれています。その中には、日野市の木、「かし」もみられます。

秋には、友達とどんぐりひろいをしたりします。そんな緑の中に行くと、とてもきもちがいいです。

しかし、この緑は昔にくらべると、とても少なくなっています。多くの人々によって、切り開かれてしまったのです。

今では、この自然林が伐採されたあとに、クヌギやコナラの林が植えられています。緑を大切にしようと、植樹祭などもおこなわれています。

私も木や草花がとても好きで、学校では生き物係をやっています。かれかかっていた草に花がさいたりするととてもうれい

です。私は、家でも草花を育てています。ミニトマトやえだまめのようなやさしいから、セントポーリアなどの花のい

です。このあいだ、えだまめに実がなりました。そのとき

はうれしくてうれしくて、

「やったーやったよ」といいながら家の中をはりまわってしまいました。

ミニトマトもだいぶ大きく育っています。(こんどひりょうを買いにいかなくちやな)と思ったりします。アサガオも、もうすこしたったら花が

さくぐらいの大きさになります。種子ができたらまたうえて、来年もさかせようと思

います。こんなふうにベランダなんかにある草花も日野の緑です。わたしだけでなく、こんな草花をたいせつにしている人は、

ほかにたくさんいると思います。わたしの友達にも、そういう草花をたいせつにしている人はたくさんいます。ぜんぜんしらない人の家でもベランダやお庭に花がいっぱい

になっているのを見たりすると気持ちがいいです。

ビルなどがたちならぶ東京の中で、こんなにたくさん緑があるというのは、この日野のじまん

です。こんな日野の緑を、もっと、もっとたいせつにして、もっともっともつと、ふやしていかたいな

と思っています。



自然の大切さ

日野市立仲田小学校

遠藤 佐助

うちのとなりには竹などできた超自然的な林があります。今年の夏はセミもよく鳴いたし、除草剤をまかなかつたせいか、家の中に小さくわがたが一びき、カミキリ虫が二ひき迷いこんできました。くわがたとカミキリ一びきは、いちおう虫かごに入れてえさをやり、育てたけれどなぜかすぐに、二ひきとも死んでしまいました。そこであらためて自然で育った生き物を、人間が育てるのはむずかしいと感じました。そして最後にかまえたカミキリ虫は、また死なせてしまうのをおそれてすぐにがしてやりました。庭のすももの木には、今年たくさんの実がなりました。花の咲く時期に木の枝を切らなかつたこともあるけれど、屋根の上に大きな蜂の巣があったのが原因だと思えます。

このように東京でも少しの緑があれば、たくさん生き物がいます。ところがボーイスカウトのハイキングで「青木ヶ原の樹海」へ行った時には、迷う人がいるくらいだから、とてもひどいやぶでたいへんだらうと思っていたのに、

なぜかコンクリートではないけれど人間が作った道ができていました。

山には川がながれています。川には水があつて魚やカニがいます。山にはなんでもあります。山に入ればたべるものはいくらでもあります。山の中のものにはなにもむだがなく、ぜんぶぐるぐるまわっているのです。そんなすばらしい所に人の作った物があると、なんとなく不愉快な気持ちになつてきます。と、ある本に書いてありました。それと同じで「青木ヶ原の樹海」には道などいらぬのだと思えました。

また、一度なくなつた森は二度とよみがえりません。地球では植物が空気を作つた、つまり二酸化炭素をすつて酸素を出しています。その植物がなくなるということは、酸



自然を大切に

日野市立南平小学校

浦井 珠巳

素がなくなるといふことです。そうなる人間も動物も生きてはゆけないのです。

みんなで緑をだいにしよう。そして未来のために自然を大切にしよう。

スーパーに行った時のことです。「トリーの回収をしています。牛乳パックの回収もしています。牛乳パック三十枚でトレットペーパー一個と交換します。」とレジにお知らせがありました。家でも母が牛乳パックを集めて姉の学校に出しています。テスト用紙や原稿用紙など全て再生紙を利用してほしいです。今限られた資源を有効に使うため、牛乳パックだけでなくゴミの分別回収など、リサイクル運動が盛んです。

一学期に、森林は人造ダムの何十倍もの水をため込むことが出来る「自然のダム」だといふことを学習しました。木材の伐採は、洪水、干ばつの原因になりますが、毎年地球上では、本州の半分に相当する面積の熱帯雨林が失われているといふことを知りました。このままだと、世界で最も豊かな緑のある南米アマ

ゾン流域でさえ百年足らずで緑が全滅するといわれています。

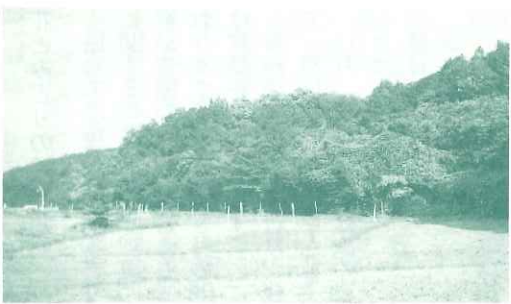
昔から私達の生活は、自然と共にあり、自然に支えられて来たと言えます。でも便利さや国が発展することばかりを考え、人間は自然の大切さを忘れてしまったのでしようか。フロンガスによるオゾン層の破壊や地球の温暖化、酸性雨、砂漠化、海洋汚染など今、地球は危機に直面していると言えらるかもしれません。

私達に出来るリサイクルや、合成洗剤を使用しない、自動車やバイクに乗る量を減らしたりなどは小さなことかもしれないけど、地球を守り、自然を大切に第一歩だと思えます。

私達の学校田にも生活排水が流れ込んでいます。先生方がいろいろ工夫して水を浄化しています。排水がどこを流してどこに流れ込んでいくのかを知らなければ、私達はきつと台所から簡単に何でも流すことはしなくなるのではないのでしょうか。人が集まり開発が進めば昔からの美しい自然はなくなってしまう。人間が住み自然も生き残れるように人間の知恵で考えて行かなくてはいけない時に来ているように思えます。

四年生の時、遠足で多摩丘

陵を歩いてきて日野にはまだ自然が残っているんだなあと思いました。雑木林の中を歩いているといろいろな発見が出来ます。小さなクモが立派な巣を張っていて、その糸がキラキラ輝いているのを見て感動したこともありました。ナラやクヌギやいろいろな雑木が落葉し堆積し林の中の肥料にもなり、その湿っていて半分くさりかけている落葉をそつと持ち上げるとちゃんと小さな虫も生きています。林の中を歩いていると心がやすらぎます。緑の多い日野の街を皆の手で守っていく為にも、皆で自然の中に入って自然の素晴らしさを体験することが、一番いいのではないかと私は思っています。



三沢台ときわクラブ(老人会
長 林教雄氏・会員70名)で
は、てっぺん山公園他3ヶ所
の清掃及び三沢台花壇の
管理をしております。

毎月、延べ30名程の方
が、身体を動かすことの
素晴らしさを実感し、又、
コミュニケーションの場
として、清掃や花壇の植
え付けに励んでおります。



地域の公園は 地域の人の手で



日野台みどり会(代表
佐藤安治氏、会員10名)
では毎月2回、日野台公
園を、地域の公園は地域
の人の手で、きれいにし
ようと清掃しております。
毎月、皆元気に出席し、
和気あいあいの中で楽しく仕
事をされております。

「緑の羽根」募金結果お知らせ

今年も市と共催で、緑の羽
根募金運動(4月1日から5
月31日まで)を実施いたしま
した。

▽内訳	
自治会	81万5千648円
老人クラブ	17万5千220円
小・中学校	4万1千119円
私立幼稚園・保育園	

市内自治会、老人クラブ、
事業所等の皆様の緑化に対す
る深いご理解とご協力により
多大な成果をあげることがで
きました。厚くお礼申し上げ
ます。

▽募金総額 207万7千98円

団体・事業所	78万 753円
市役所機関	11万5千215円
街頭募金	10万2千542円
この還元金は市内の緑化推 進に役立たせていただきます。	

新・動物ガイドブックの 調査にご協力を!

市では、新・動物ガイドブッ
クを刊行するため、現在日野
の自然を守る会に委託し、市
内の野生生物の調査を実施し
ています。このたび、広く市
民の皆様から、動物生息情報
収集のご協力をお願いするこ
とにいたしました。

連絡ははがきでお願いしま
す。特に情報のほしい動物は次
の種類です。
(ほ乳類) キツネ、タヌキ、
ノウサギなど(昆虫類) ホタ

調査にご協力を!

ル、クマゼミ、ハンミョウな
ど(鳥類) カワセミ、シメ、
アカゲラなど(魚類) メダカ、
シマドジョウ、ホトケドジョ
ウ、ヨシノボリなどです。こ
のほかの動物についての情報
もお待ちしています。

情報連絡先
日野市の自然を守る会
〒191 日野市東豊田3丁目15番地12
片岡方
☎〇四二五八二一〇六九六
(公園緑政課)

「日野市の植生」刊

市内の植物の現況と分布を
示した「日野市の植生」を発
刊いたしました。

この本は、昭和51年に発行
した改正版です。市内の植生
の現状を多数のカラー写真で
紹介してあります。

サイズはB5版で、現存植
生図等、全4枚の図面と報告
書、付表集をセットしました。
市役所1階の市政図書室に
て、4千円で販売、図書館で
貸出しも行っていますので、
ご利用下さい。

映画とビデオの作成

当協会では、市(公園緑政
課)より委託を受け「みどりの
まち」―私たちのふるさと・
日野―という映画とビデオを
作成いたしました。

この作品は、日野市の現況
を中心に、四季の移り変わり
を記録撮影し、今後どうある
べきかを映画化したものです。
公園緑政課で貸出しをしてお
りますのでぜひ一度ごらんに
なって下さい。

花とみどりの健康相談

協会では毎月一回、みどりに
関する相談日を設け、専門
家が皆様の質問にお答えして
おりますが、1月～3月の間
は電話相談となります。

事務局で電話を受け付け、後
日、専門家より回答致します。
11月、12月の日程は次のと
おりです。

相談日・場所
▽11月3日(日)
日野中央公園(家庭緑化
の日・球根無料配布会場)

▽12月7日(土)
緑化センター(日野中央
公園南側)



▽編集のあとに△

「緑のまち」8号をお届けし
ます。作文はいかがでしたか。
全市民が会員、皆様の声を沢
山載せるように努力しており
ます。これからも御寄稿をお
待ちしております。